



あくね

阿久根特産
あくね
うまいね
自然だね

●●●● 編集・発行 / 阿久根市役所 総務課 〒899-16 鹿児島県阿久根市鶴見町200番地



(隼人小学校園にて)

平成8年
6月号
No. 593

僕たちのビワは 1番おいしーよ!!

梅雨前線が 襲ってくる!



昨年被害にあった家屋

自分自身や家族を守るために

災害に備えよう

我が国の気象に関する技術は、世界的にも優れてきており、台風や豪雨の到来は予測できるようになりました。

しかし、のんびり構えているわけにはいきません。

毎年襲ってくる台風や豪雨。テレビから放送される惨事は他人ごとではありません。いざというとき、大きな差となつて現れるのは、やはり日頃からの災害に対する対策です。

「天災は忘れたころにやってくる」と言われますが、「備えあれば憂いなし」の心構えで災害に対する防御力を身につけておきましょう。

被害総額二億九千万円

住宅など五棟が全半壊

まだ記憶に新しい昨年の七月、北陸地方を襲った集中豪雨により、市内各地で災害が発生。崖崩れにより五棟が全半壊し、床下浸水十八棟、農産物被害が冠水により百五十三区、公共施設が学校を含む八十四箇所におよびましたが、幸い人的被害がなかったのがせめてもの救いでした。

この災害は活発な梅雨前線が南下し、五日間にわたり断続的な豪雨に見舞わ

れたもので、降り始めからの雨量が五百二十八ミリに達しました。阿久根市の昨年一年間の雨量は約二千三百ミリですから、この五日間で二十七%以上の雨が降った計算になります。

また、一時間あたりの最大雨量が八十六ミリを記録しました。雨量の「一」というと案外少ないと感じる方がいるかもしれませんが、ところが、約十坪の庭に「一」の雨に相当する水をまこうとすると、十八リットのポリ容器で二本分の水が必要です。ですからこのような一時間あたり八十六リットの雨は、膨大な水量といえます。

「まさか我が家が…」
災害は場所を選びません

実際に災害に見舞われた方に話を聞くと、「自分の家がまさかこんなことになるとは考えてもいなかった」と言われます。それは、家の裏が竹林であったから安心していたということでした。

しかし、実際には昭和四十六年に発生した大災害の時も、竹林の崩壊が多かったと言われています。地震には強いと言われている竹林も、雨には弱いのかも知れません。崖地のある竹林で、しかも水が流れ出るような場所がある場合は十分な注意が必要です。

また、昨年の被害で人的被害がなかったのも、崖の崩壊が何回かに分かれたこと、音に気づき素早く避難したことが幸いしました。

災害に「まさか」は通用しません。「もしかしら」の考えを持つようにしましょう。

怖い！集中豪雨

九州南部地方は五月下旬に梅雨入りしました。日本は地理的に、冷たい空気を育てる大陸と暖かく湿った空気を育てる海洋に挟まれているため、前線や低気圧が発生しやすく、梅雨と言われる長雨がもたらされ、しばしば集中豪雨が発生して甚大な被害がでます。

集中豪雨の被害の特徴は、降り始めから災害発生までの時間が短いことと、降る範囲が極めて狭いことです。昭和三十一年に長崎県諫早市で記録した一日の雨量が、千百九、という驚異的な記録があります。しかし、その場所からわずか百、しか離れていない天草では百、程度しか降りませんでした。集中豪雨がいかにも局地的な降り方をするかがわかります。

このことから、いくら技術が発達している今日でも、局地的な雨を予測することはたいへん難しく、そのために台風とともに集中豪雨が恐れられるゆえんなのです。

「いざ」に備えて 日頃の準備を

誰しも災害にはあいたくありません。しかも人的被害など無縁のものでありたいと願うのは当然のことです。しかし、災害は場所、時を選びません。

あらゆる災害においても「自分の命は、自分で守る」という態度で日頃から次のことについて準備をしましょう。

■大雨警報に注意

一般に気象情報として発表されるものに注意報と警報があります。注意報は「避難準備」という意味で、早めの避難の準備が必要です。また、警報は「災害発生」の恐れがある。避難行動の準備」と言う意味です。

■家の周りを良く知ろう
我が家のある地域の特性や状況を知っておくのが大切です。あふれた水が床下を洗い流したり、地中にしみ込んだ水が石垣を崩したりします。近所どうして周囲の水はけを良くしたり、よう壁などの構造に異常があれば、ただちに修理するなどの対策が必要です。また、裏手の斜地や山林の様子を観察するのも重要なことです。

■早めに避難しましょう

「裏山で大きな音が聞こえた。何の音が確かめず、すぐに家を出て避難した」。土砂で埋まった家から生き延びた人の話です。



万が一に備えるよう心がけよう

避難所一覧表

■ 臨本地区	■ 鶴川内地区	■ 大川地区	■ 阿久根地区
臨本小学校	鶴川内中学校	大川中学校	農村環境改善センター
三笠中学校	鶴川内小学校	大川地区公民館	勤労者体育館
臨本保育所	鶴川内児童館	牛之浜児童館	赤瀬川児童館
隼人小学校	鶴川内地区集会施設	■ 西目地区	B & G 体育館
臨本地区公民館	■ 田代地区	西目小学校	阿久根農業高校
黒之浜児童館	山村開発センター	西目保育所	阿久根高校
黒之浜漁村の家	田代小学校	西目地区構造改善センター	阿久根小学校
瀬之浦児童館	田代下地区集会施設	■ 山下地区	阿久根中学校
	■ 折多地区	山下小学校	老人福祉センター
	折多小学校	■ 尾崎地区	働く婦人の家
	折多保育所	尾崎小学校	市民会館

(※避難する場合は区長さんへ連絡してください)

家の誰かが危険だとか、恐いとか感じたらすぐに避難しましょう。十分な準備と早めの避難体制が、自分自身を守ります。

分はもとより、家族を守るためには不可欠です。避難しようという勇気を持つようにしましょう。

平成8年 市民表彰式

市民特別表彰

西田福七さんら六人・一団体に

十四人と十六団体に功労者表彰

平成八年の市民表彰式が五月二十七日、市民会館で関係者ら多数が出席して盛大に開かれました。

市政発展や広く社会に貢献された方などを表彰する市民特別表彰では、長年にわたり農家育成と産業経済発展に貢献された前鹿兒島いずみ農協組合長理事の西田福七さんなど六名と一団体に、また、各部門で功績のあった方を表彰する功労者表彰では地方自治、産業経済、社会福祉の三部門で十四名と十六団体が表彰されました。

市民特別表彰

※敬称略

【産業経済部門】

▽西田福七(72)農業協同組合組合長として十一年の永きにわたり、農家育成と産業経済発展に貢献(下村区)

▽川崎正人(70)農業委員として十二年間の永きにわたり農家の育成と経営指導に貢献(尾崎区)

▽若松光仁(73)三十八年間の永きにわたり、商工会議所の組織充実と商工業振興発展に貢献(上野区)

【教育文化部門】

▽故宮内甚吉 県指定無形民族文化財「神舞」の後継者の指導、育成にあたり、神舞の伝承保存に永年貢献(波留区)

【社会福祉部門】

▽山下ヒサ(79)母子・寡婦福祉副会長、会長として二十九年間の永きにわたり福祉の充実発展に貢献(橋之浦西区)

【特別感謝】

▽鳴川洋一(62)阿久根市総合体育館落成を記念して絵画を寄贈し、施設の充実と文化の向上に貢献

(東京都)

▽国際ソロブチミスト出水海洋少年団、スポーツ少年団に寄付。中央公園に時報チャイムを寄贈。市に乗用車(ライオン)一台を寄贈

功労者表彰

(一)内は功労内容 ※敬称略

【地方自治部門】

松下均(区長勤続十年、大林区) 倉津實(同九年、倉津区) 故牛之濱望(同七年五ヶ月、牛之浜区) 児玉平三(同七年、桑原城区) 桑原城下区(平成七年納税優良区) 宮原区(同) 横手

区(同) 荻野区(同) 尾原区

(同) 米次区(同) 田代中区

(同) 田代下区(同) 丸内区

(同) 落区(同) 馬見塚区(同)

川畑中区(同) 尻無上区(同)

瀬之浦上区(同) 松ヶ根区(同)

【産業経済部門】

田上實(農林業、格区) 京田幸雄(同、瀬之浦上区) 大野貞夫(同、桐野下区) 鶴崎新一

脇本(黒之上)地区の 区画整理工事開始

昨年度からの繰越事業となっていた脇本地区(黒之上工区)区画整理工事の起工式が五月八日、同地区内の現場でとり行われました。

この区画整理は経営基盤確立



工事が開始された黒之上地区



クワ入れする川原助役

農業改善事業として取り組まれるもので、総工事費は一億六千万円。対象戸数は六十戸、面積は約八・六ヘクタール。工期は九月までとなっております。

いままですべて狭い田が多くありましたが、今回の工事と同地区の中央に農道が設けられ、農業機械の田への搬入などが容易になり、たいへん作業効率が高くなると期待されます。



第2回阿久根市長旗 全国中学校選抜剣道大会

男子は **人吉二中** が優勝
女子は **阿蘇中**

大川中が惜しくも

優勝ならず

第二回目になる阿久根市長旗全国中学校選抜剣道大会が五月四日、総合体育館で全国から七十二チームが参加して開催され、応援に駆けつけた多くの父母らの声援が広い体育館内をとりびかいました。

この大会は、平成六年度完成した総合体育館の完成記念として開催されたもので今回で二回目。九州、沖縄各県をはじめ福島県や和歌山県、兵庫県から男子四十二チーム、女子三十チームが参加しました。

開会式で新市長が「今大会を通じて悔いのない試合を展開され、多くの人達との親睦を深めてください」とあいさつ。開会式のと、早速競技に移り、予選リーグを勝ち抜いた四十八チームで決勝トーナメントが行われました。

参加した各チームは、それぞれ県大会では上位入賞を果たす実力のあるチームばかり。三分という試合時間を短く感じるほどの剣の打ち合いもあり、レベルの高さを感じられました。また、二階観覧席は応援する

父母らで埋まり、盛んに声援が
おられました。

なお結果は次のとおりで、地元チームでは大川中女子が二位に入り、大健闘を見せました。

【男子の部】

- 優勝 人吉第二中(熊本)
- 二位 神崎中(佐賀)
- 三位 十文字中(福岡)
- ◆ 大崎中(鹿児島)
- ◆ 京陵中(熊本)
- ◆ 高岡中(宮崎)
- ◆ 高田中(福岡)
- ◆ 東海中(宮崎)

【女子の部】

- 優勝 阿蘇中(熊本)
- 二位 大川中(阿久根市)
- 三位 北茂安中(佐賀)
- ◆ 臼杵北中(大分)
- ◆ 高千穂中(宮崎)
- ◆ 福平中(鹿児島)
- ◆ 東海中(宮崎)
- ◆ 千代田中(佐賀)



熱戦が繰り広げられる

盗掘防止へ監視強化

海ガメパトロール始まる

アカウミガメの産卵地として知られる本市臨海・大川島の両海岸で、海ガメ保護監視パトロールが開始され、開始日の五月二十三日に臨海地区公民館で関係者らが出席して開始式が行われました。

開始式には市や警察、地元の方々などが出席。式のなかで折口東区の山口勝彦さんら五人に、海ガメ保護監視員の委嘱状と腕章が渡されました。

また、海ガメ保護監視員を代表して市青年団の坂元和久さんが「三年前から参加させて頂いています。海ガメの産卵を見たときたいへん感動しました。今年も、積極的に保護、監視活動に取り組み、もう一度感動を味わいたいです」とあいさつされました。

昭和六十二年から始まったこのパトロールで昨年三十七頭が上陸

し、合計二百七十九頭の産卵が確認されています。

開始式のと、関係者らで海岸をパトロールし、海ガメの上陸の防げになるゴミなどの散乱状況を見て回りました。

パトロールは八月下旬ごろまで毎日行われます。美しい自然を守り、海ガメが訪れやすい環境を保つため、市民の皆さんのご協力が必要です。



浜辺をパトロールする関係者ら

積極的に 社会参加を

第10回市身体障害者 街づくりシンポジウム



身体障害者の自立意識高揚などを目的とする「第十回市身体障害者街づくりシンポジウム」が五月二十八日、市民会館で開催されました。

シンポジウムでは第一部の式典に先立ち、市身体障害者連合会の山下正雄会長が、「お互いの意見を出し合い、手をとりあって福祉の向上、住みよい街づくりをめざしましょう」とあいさつし、自立更生に尽力された五名の方々を表彰しました。

また、第二部の体験発表では新町区の下田京子さんが、お子さんの障害に関して「子供が病院に通うころはつらくて涙ばかり流していました。しかし、そ

の分強い精神を培いました。子供がお世話になっただけ恩返しをしたいと思います。くじけず前に進んでください」と発表されました。

その後、シンポジウム宣言に続き、「進んで社会参加の道を開拓し、地域発展に努力する」などの決議文が読み上げられ、議決されました。

なお、本会で表彰された方は次のとおりです。

- 自立更生部門 表彰略
- 尻無浜正刀（尻無下区）河野義夫（大丸区）松峯洋子（波留区）筒川勝（筒田区）西原哲夫（海区）

村づくりグループが

青空市を開催

三笠西部地区村づくり委員会

市内臨本の西部に位置する四集落で組織する「三笠西部地区村づくり委員会（会長小田正美さん）」がゴールデンウィーク中の五月六日、同地区の国道三八九号沿いで、青空市を開きました。



安くて新鮮と喜ばれた青空市

この青空市を「村づくり青空市」と称し、黒之上、大谷、黒之浜、深田の四集落で構成する同委員会が、地元で生産される生産物のPRと活性化の推進、生産農家の誇りを持った村づくりに取り組もうと開いたもの。

当日、店頭には実エンドウやソラマメ、ジャガイモなど所狭しと並べられ、さらに市価より

ゴールデンウィーク 市民が繰り出す

今年ゴールデンウィークは天候に恵まれ、市内の番所丘公園と道の駅は大勢の行楽客が訪れました。

番所丘公園では、子供を連れた家族連れでたいへんな賑わいとなり、公園内の施設を利用する方や弁当を食べる方など、休みの過ごし方は様々でしたが、一番喜んだのは子供たち。芝生の敷かれた広いスペースを駆けまわり、また、ゴーカートには長蛇の列ができるほど。

特に五月三日からの四日間は駐車場が満杯状態でした。今後公園内の整備が進むと駐車場も



賑った番所丘公園

三割ほど安く販売されました。いつもより交通量の多いこの日、行きかう行楽客がひんばんに立ち寄りました。

そして、当初予定していた量がすぐ品切れとなり、生産者が畑に採りにいく場面も見られ、同委員会の会員らは農業経営に自信を深めました。

今回の販売品は会員の提供で、売上金は村づくり委員会の運営資金として活用されます。

番所丘 公園

広がり、いっそう利用者も増えることと思われまふ。市民の方々の今後のご利用とご協力をお願いいたします。

春の叙勲

勲五等双光旭日章

若松光仁氏(73)



勲五等瑞宝章

岩重武己氏(78)



昭和三十三年に商工会議所役員に就任し、昭和五十八年から四期十二年間会頭を務められるなど、三十八年にわたり商工業振興発展に努力された功績が認められました。

三十八年という長いようであった間には、様々な出来事があった。中でも一番印象に思い出深いことは国立病院の存続問題で、「何度となく国や県に陳情に出掛けました。出水地区内五万人の署名を持って厚生省まで足を運び、お願いに行きましたが、あきらめざるを得ず、何とか病院を残そうと医師会立病院として存続できました」と当時を振り返られました。今後も市民生活の向上や商工業発展に努力していきたいと話されました。

昭和三十四年から三十七年間にわたり、保護司として受刑者の更生やお世話を献身的にされた功績が認められました。

受刑者や罪を犯した方や、その家族のお世話をする仕事だけに、プライベートで保護に気がつかうと言う中で、「やっぱり一番困るのは、保釈中に連絡が途絶えてしまうことです。自分の誠意が足らなかったのかと反省しますが、立派に社会復帰された姿をみると自分の家族のようにとてもうれしいです」と話されました。「罪を憎んで人憎まず」を心情に、数十人の受刑者と接してこられた経験を生かして、今後も地域の犯罪予防のために何か奉仕をしていきたいと感想を話しておられました。

友だち多いと やっぱり楽しい

三校集合学習

持ち回りで小人数ではできないグループ活動を中心に、各小学校の持ち味を生かした交流がはかられています。

今回は田代小学校がホスト校となり、まずは、料理作りに取り組みました。近くの川に自生するクレソン等の葉を取ることから始まった野菜サラダの班、タケノコを具にしたみそ汁の班、田代地区でつくられる竹の炭で



共同で料理する子供たち

尾崎小、集人小、田代小のミニ小学校の児童らが五月二十二日、田代小学校に一同に集まって交流をはかりました。

仲間づくりを目的に昭和六十二年から始まったこの集合学習は、毎年一回開催され、三校の

「資源の大切さを学んで」

再生紙ノート贈る——古紙回収業者

環境破壊や地球温暖化などが取りざたされる中、本市でも行っているリサイクル事業の古紙回収をされている業者の方々が五月二十八日、市役所を訪れ、市内の全小学生にと再生紙を利用したノート二千冊を贈りました。

本市では平成四年からリサイクル事業を実施し、本年度で四年目を迎えます。

今回再生紙を使ったノートを贈ったのは、落秀喜さん(落区)・川畑親夫さん(牧内区)・馬見塚三義さん(大丸区)・道嘉信義さん(永田下区)の四人。業者の方々は、「市民の皆さんの協力で回収事業ができています。将来を担う子供たちに、少しでも

環境破壊や地球温暖化などが取りざたされる中、本市でも行っているリサイクル事業の古紙回収をされている業者の方々が五月二十八日、市役所を訪れ、市内の全小学生にと再生紙を利用したノート二千冊を贈りました。

本市では平成四年からリサイクル事業を実施し、本年度で四年目を迎えます。

今回再生紙を使ったノートを贈ったのは、落秀喜さん(落区)・川畑親夫さん(牧内区)・馬見塚三義さん(大丸区)・道嘉信義さん(永田下区)の四人。業者の方々は、「市民の皆さんの協力で回収事業ができています。将来を担う子供たちに、少しでも



市長に目録を渡す業者のみなさん

今年のひな女ももじょかった

— 佐潟区 ひな女まつり



子孫繁栄と子供の健やかな成長を願う、佐潟区の恒例行事「ひな女まつり」が5月24日、佐潟漁港広場で開催され、多くの見物人で賑わいました。

この祭りは、藩政時代から伝わるとされ、地区出身者に生まれた長女だけが対象となり、お釈迦様の生まれた旧暦の4月8日に開催されています。地区住民に紹介する意味で、顔がよく見えるよう背中合わせにおぶられるのが特徴。

今年のひな女は地区内に住む富吉安徳さん夫妻の有由美ちゃん、潟区に住む中野進二さん夫妻の彩香ちゃん、名古屋市に住む平野進一さん夫妻の加那子ちゃんの3人。

晴れ着に身を包み、うっすらと薄化粧したひな女は、父方の祖母を皮切りに父母や親類へと次々に踊り継がれ、地区住民にお披露目されました。会場を一周するごとに拍手が沸き起こり、小さな主役たちは訪れた観客から大きな祝福をうけていました。

観光や紙ヒコキ作りで

阿久根をたんに

— 青年会議所

会員の研修・情報交換の場として開催される青年会議所庶民見鳥フロッグ大会が、5月11日から12日にかけて本市で開催されました。

「家族みんな地球市民」をテーマに家族連れでの大会となり、阿久根長島方面の観光や、紙ヒコキ大会野球大会などが催されました。

県内各地から訪れた会員や家族は、阿久根の自然や特色のあるイベントに参加し、一日間を存分に楽しめた様子でした。

国際ボランティア貯金

加入者二千万人突破

郵便局が平成3年1月から始めた国際ボランティア貯金の加入者が、5月2日、全国で二千万人に達したのを記念して、阿久根郵便局でパネル展と活動内容のビデオが放映されました。

スタート以来全国で総額112億円が寄付され、主に開発途上国の福祉向上に活用されています。

本市でもこれまで6600件の加入があり、市民の方の関心の高さが伺えます。





空願の偉業を讃え防火の誓いあらたに

— 本町区空願講

今から約250年前に、当時阿久根で頻発していた火災を鎮めたと言われている僧・空願をしのぶ空願講が5月26日、中央公園に設置してある石仏前で開催されました。

空願は、当時島津藩の厚い信望を集めていた人でした。そのころ阿久根では約12年間に渡り大火が発生。そのため、空願に火止めの祈禱をお願いしたところ、7日間の絶食・水行を行い、その後数十年にわたり大火がおさまったとのこと。

この講は、戦後になってすたれ、昭和61年に本町区の方々によって復活しました。

この日の法要には区の方から約30人が集り、空願の偉業をたたえ偉徳をしのびました。

2施設で運動会開催

盲養護老人ホーム「蓮の実園」と重度身体障害者施設「愛和園」では、初夏の陽気をうかがわせる晴天に恵まれる中、蓮の実園では5月12日、愛和園では26日にそれぞれ開催され、施設の利用者のほか、家族やボランティアなども参加し運動会が開催されました。

両施設とも身体に障害を持つ方が利用されているだけに、それぞれ工夫をこらした種目を取り入れ、蓮の実園ではボールを手渡しするボール渡し、愛和園では車椅子に乗ったまま出来るリレー形式のジャンケンゲームなど、多彩な競技を楽しみました。

また、ボランティアや地区の方々も応援に訪れ、利用者の手を引いたり、車椅子を押したり、種目に参加したりするなど、たいへん喜ばれました。



初夏の味覚 ウニ漁始まる

— 黒之浜漁協

阿久根市の特産品でもあるウニ漁が5月15日、黒之浜地区で解禁となり、漁業関係者らがいっせいに海へ繰り出しました。

黒之浜地区では5月から6月の潮時期の約3週間漁を行うこととし、沿岸の漁業権を持つ漁家のみが漁をすることができ、しかも、乱獲を防ぎ資源保護をするため、1日の出漁時間も3時間と決められています。

ウェットスーツに水中メガネのいでたちで、漁の開始時間がくると一斉に海に入り、次々と水中からウニを拾いあげました。今年のウニは平年並みで、大きさ・味もまあまあのでき。水揚げされたウニは、キロあたり10500円で漁協のウニグループに買い取られ、ピンづめウニとして販売されます。



隼人小でピワを収穫

— 隼人小学校

県内で有数のピワの産地、隼人地区にある隼人小学校では5月29日、学級園のピワを収穫しました。

ピワの収穫は5年前から行われており、地区内特産品であるピワの世話から収穫を理解し、農家の方々の苦労も体験してもらおうとゆとりの時間を利用してはじまったもの。児童らはピワの実の袋かけを2月に行い、今回嬉しい収穫となりました。

園を提供してもらっている山平義孝さんから、収穫する際の注意点を聞き、注意深く袋を破るとヤマブキ色したおいしそうなお実が現れ、1個ずつ慎重にハサミで切り取りました。今年は霜などの影響で例年より収穫が遅れましたが、雨が少なかった分甘味はいいとのこと。ピワは給食に出され、収穫と味を楽しくあじわいました。



阿久根短歌会

農を継ぐ期待こめられるなら
ん丘の一軒家に立つ煙のぼり

脇本 宮原 範子

降り頼る雨のひと目を術もなく
図鑑のなかに花をたのしむ

折口 白浜 ノブ

如何かと顔のぞきこむ看護婦の
笑顔に会へば癒ゆる心地す

脇本 赤崎 タエ

寒あれど漸く晴れし空の下おぼ
ろに咲きし桜にふるる

大丸 橋崎 幸

潮満ちて有磯は見えず海に立つ
岩に鶴のゐる牛之浜駅

赤瀬川 築瀬 紀夫

わが頭上飛びるし鳥のたちまち
に羽音軋ませ煙に降り立つ

新町 遠矢 律

よき事も苦しき事も重なればつ
ねより勢ひ灰汁巻つくる

上野 亀沢 笑子

別れゆく君乗りし船野ゆり丸碑
の沖をはやも達のく

琴平 川畑 スミ

振り返る事のみ多しわがひと世
ことなくあれと心いましむ

脇本 太田 徳江

男孫の生れし宴にうかららは宝
のごとくその児を抱く

上野 河南誠一郎

今月の新着図書



児童書マキヤロラインの星マ
ザのちいさいおとうとマたの
きゆうマともだちマネゴとクラ
リネットふきマねこのパーキン
スのおみやげ 他多数

一般書マ永倉万治「おけら」
マ毎日新聞社「男の厨房入門」
マ杉本苑子「落とし穴」マ庄野
潤二「貝がらと海の音」マ羽山

信樹「がえん忠臣蔵」マ林京子
「櫻の木の子」マ篠田節
子「カノン」マ芦原すなお「宮
能記」マ真鍋繁樹「義なくば立
たず」マダン・フランク「きよ
うならということ」マ沢田ふじ
子「重藤の弓」マ森雅裕「自由
なれど孤独に」マベネッセ「旬
のさかなの本」マ浅田次郎「蒼
穹の昂（上下）」マジエームス三
木「存在の深き眠り」マ薄いゆ
うじ「台風娘」マ広河隆一「チ
エルノブイリの真実」マ東郷隆
「にっかり」他多数

歴史スポット

真綿石

37

中馬大蔵之墓

脇本瀬之浦下の墓地に、寛永
十一年十月十八日（一六三三）
建立と記された高さ五八センチの
墓が、廻りの新しい墓に囲まれ
て建っていました。

古びた墓石は三五〇年の歳月
で暗くなり、崩れかかっています。
現在の自然石の雄大な墓
は、後裔にあたる出水市在住の
中馬正敏さんが、昭和六〇年に
三五〇年祭記念に建立されたも
のであります。

中馬大蔵は市来に生まれ、幼
名を与八郎といました。蒲生、
出水と移住し、増田警備として、

瀬崎野笠山から野間の関所に至
る沿岸の取締役となりました。

五人力の強弓を引いたといわ
れる剛勇の士で、島津義弘に仕
え、朝鮮の役で目ざましい手柄
をたてたといえます。関ヶ原の

戦いでは、終始義弘の側を離れ
ず、決死奮闘敵中突破を果たし、
血路を開いて、伊勢・近江・伊
賀・大和を経て大阪に出るまで、

ほとんど絶食状態のなかで、義
弘の駕籠を担いで走り続け忠勤
に励みました。この功により五
十石が与えられましたが、出水

の地頭と意見が合わず、脇本の
瀬之浦に住み、西目衆
となり禄高は八四石三
斗六升の郷士として余
生を送りました。

寛永十二年十二月二
十八日七二歳で生涯を
閉じました。

旧墓石には、「貫翁道
一居士」と記されてい
ました。



誕生

おめでとう



※敬称略

出生児	保護者(区名)
中原 礼乃	大雷(橋之浦西)
吉田 恵理	義美(牟田)
高橋 豊	徹(町)
洲崎 朱音	篤(濁)
田原 重美	俊一(新町)
神之田 瞳	憲一(古里)
倉津恵理香	耕三(倉津)
落 一希	桂一(牧内)
岩切 美咲	秀一(濁)
砂畑 志帆	弘美(中村)
野村 菜七	利行(的場)
陳尾 隆太	武志(陳之尾)
山下紗弥美	昭雄(下桑原城)
福永 智子	博美(段)
大江明日香	清光(山下馬場)
若松 瑞美	良和(梅)
伊 まどか	隆文(上野)
中野 和	和博(牟田)
田上 愛永	誠(濁)
武宮 叶介	彰(大谷)

福祉事務所からのお知らせ

福祉事務所では、乳幼児に対する様々な事業を行っております。お気軽にお申し込み、お問い合わせください。

○遊びの指導事業（平成8年度Ⅱ親子遊びの教室）

親子での遊びの指導や料理教室、相談などを行います。お友だちをつくり、いっしょに遊びましょう。

※対象者は未就学の児童とその保護者です。

期日	曜	場 所	時 間
7月4日	木	臨本地区公民館	10:00~12:00
7月11日	木	西目地区集会施設	
7月18日	木	臨本地区公民館	
7月25日	木	鶴川内地区集会施設	

○乳幼児（1歳未満児）保育開始のお知らせ

折多保育所では、平成8年度より乳児（0歳）保育を開始しました。今年度中に産休明け、育休明けで就労を再開される方、又、家庭の事情で乳児の保育を必要とされる方は、福祉事務所まで早めに予約・申請してください。

○乳幼児健全育成相談事業

●子どもと家庭の相談室

臨本保育所、折多保育所で毎週木曜日（10時~15時）に児童の各種相談業務を行っています。家庭相談員や児童発達総合相談センターとの連携で相談を受け付けております。児童のことで悩みのある方はお気軽にご相談ください。

福祉事務所 社会係 ⑦3-1211 内線1415

消費生活講座 35

クリーニングを利用する時のチェックポイント

衣替えの季節です。大切な衣類をクリーニングに出すとき、どのようなことに注意したらいいのでしょうか。

品物を預けるとき、受け取る時、異常がないかどうかクリーニング店の人と一緒に確認する事がトラブルを防ぐポイントの一つになります。

万が一、縮んだり、型くずれ等の事故が起きた場合はすみやかに冷静にお店の人と話し合しましょう。組合加入店なら6ヶ月間は保証期間もあります。

又、当事者間で解決できない場合は消費生活相談窓口を活用しましょう。



消費生活上で、困ったな？おかしいな？と思ったら市役所商工観光課の消費生活相談員までご相談ください。☎73-1211 (内線1111)

友達の輪 109

竹原正子さん (23)

八郷区



幼稚園に勤めて三年目。最初は子供にふりまわされていましたが、今ではすっかりとけ込んで、先生らしくなったかな？総合体育館のジムにかよっています。やっぱり体力勝負の仕事ですから！

- 趣味 ドライブと体を動かすこと。
- 性格 明るいけどちょっとドジな私。
- 理想のタイプ 笑顔がすてきな元気な人。
- 私のモットー どんな時も笑顔でいること。

次の友達を紹介してください。

はい、次は古里区の山田美和さんです。

こめいふくを

お祈りします

（5月22日届出分まで）※敬称略

- 死亡者名(区名)
- 東郷 幸男77(遠矢)ヒロ子
 - 宇都イルノ84(東牧内)成田
 - 中原 キク88(筒田)一義
 - 古川八千代71(大林)カ
 - 津田 亮75(大尾)ノリ子
 - 花本 盛蔵91(中屋敷)ケモ
 - 根比マツエ70(陳之尾)松嘉
 - 春田コトエ85(川畑中)正夫
 - 石坂 隆樹82(大丸)隆道
 - 東 正利56(牟田)トミ子
 - 神之田シシノ76(中屋敷)亀鶴
 - 松永 義満75(牛之浜)カメツ
 - 磯貝 春信74(上野)チサ子
 - 雪上左衛門89(坂本馬場)純弘
 - 田上 龍雄75(大下)モモエ
 - 石澤ミサヲ90(大滝)正人
 - 前園佐一郎67(大尾)鈴江
 - 松元 忠86(浜)ソテ
 - 別府 國義77(永田上)モモエ
 - 福岡 トメ83(上野)正廣
 - 花田 勇71(的場)アイ子
 - 松本 兼雄62(上原)アツ子
 - 古賀ハツエ87(瀬之浦上)英二
 - 河内 克彦43(一町)ミキ
 - 園田千代喜69(古里)タエ子

で恩給を受給されている方の移動援護相談を、県国保援護課恩給係により次の日程で開催します。

恩給についての相談のある方は遠慮なくおこしください。

日時 7月9日(火)
10時から15時
場所 市役所2階大会議室

ホームヘルパー研修会

参加者募集

県では、ホームヘルパーの人材確保を目的に、研修会受講生の募集を行っています。

▽研修日程
平成8年8月6日～8月28日の間の8日間

▽研修会場
出水中央高校

▽締め切り 7月5日(金)

▽申し込み及びお問い合わせ
福祉事務所高齢者対策係まで
☎731211内線1413
※受講申込書は同所にあります。

阿久根漁港

『新鮮朝市』

7月14日(土)開催

農林業振興センター

寒小ギク苗(12月咲き)を販売いたします

▽販売日 7月3日(水)

午前9時～午後4時まで

▽場所

農林業振興センター

(市内赤瀬川) ☎732191

▽単価 1本十円

(計15000本程度)

予約注文は行っておりません。当日、直接お越しください。

農業委員会委員選挙 7月7日(日) 投票

▽7月19日任期満了に伴う農業委員会委員選挙は、全国的に統一して7月7日に行われます。

告示日 6月30日(日)

不在者投票 6月30日(日)～7月6日(土)

日本古来の武道

夏季弓道教室 生徒募集

阿久根市弓道会では7月からの夏季教室の生徒を募集しています。初心者でもお気軽にお申し込みください。

期間 7～9月、毎週水・金曜
時間 夜7時半～9時半
(昼の練習もできます)
場所 総合運動公園内弓道場
募集人員 学生除く一般 20人
申込先 事務局(72-1808 石沢)
又は社会体育課(73-4649)

市立図書館

休館のお知らせ

市立図書館では7月20日(土)から7月22日(月)まで館内ガス燻蒸消毒のため休館します。この間、迷惑をお掛けしますが、貴重資料を守るため必要です。ご協力をお願いします。

社協だより

次の方々から市社会福祉協議会へ香典返しのご寄付がありました。ありがとうございました。

▲敬称略
寺地輝男(尻無下) 松永カメマツ(牛ノ浜) 下園マズ子(尻無下) 松元一成(下村) 下園勝志(尻無上) 田上モモエ(天下) 若松積(尻無上) 花木クモ(中屋敷) 東郷ヒロ子(遠矢) 寺地輝盛(尻無上) 吉野タツエ(遠矢) 神之田亀鶴(中屋敷) 榊ハツエ(榊) 別府国守(永田上) 石坂隆道(大丸)

在宅医さん

○6月23日
北国医院 ☎0016 (本町)
○6月30日
林胃腸科外科 ☎3639 (大丸)
○7月7日
植村整形外科 ☎1041 (一段)
臨本病院 ☎2121 (楊之浦西)
○7月14日
有村産婦人科内科
☎4180 (栄町)

○7月20日(海の日)
上園医院 ☎1055 (本町)
○7月21日
内山病院 ☎1551 (高松)
黒木医院 ☎0200 (下村)
○7月28日
喜多医院 ☎0038 (大丸)

ワんちゃんのみ

引きとり



○6月25日
○7月2日、11日、23日
時間 10時から10時30分まで
出水保健所から保健センターにひきとりにきます。

国家公務員採用 Ⅲ種試験(高卒程度)

人事院では一般官署、郵便局、税務署等の初級係員の採用試験を行います。

【試験の区分】

行政事務、郵便事務A・B、
税務、その他専門職

【受験資格】

昭和49年4月2日
(ただし、郵政区分は昭和46
年4月2日、税務区分は昭和
51年4月2日)昭和54年4月

1日までに生まれた者

【受験申込受付期間】

平成8年6月26日(水)から
7月3日(木)まで

【試験日】

第1次試験

平成8年9月8日

【問い合わせ先】

〒812 福岡市博多区博多駅前
2・11・1

人事院九州事務局

第二課試験係

【申込用紙の請求方法】

郵便で請求する場合は、角形
3号の封筒に130円切手を
貼った宛て先明記の返信用封

シー・クィーンあくね 募集中!

商工会議所青年部では、各種イベントやキャンペーンを
通じて、阿久根市の観光や特産品のPRのお手伝いをして
いただく「シー・クィーンあくね」を募集しています。

▷応募資格

市内、出水郡内に在住、もしくは勤務している方で18
歳以上の明るく健康的な未婚の女性(高校生を除く)

▷応募方法

履歴書または応募用紙に記入の上、スナップ写真1枚
を提出してください。

▷応募締切り

6月28日(金)

▷選出方法

面接により3名選出

▷特典

選ばれた3名には海外旅行、若しくは賞金、応募者と
推薦者全員に謝礼金。

※お問い合わせ・申し込み

阿久根商工会議所青年部 ☎72・1185

簡を同封し、表の封筒に「Ⅲ
種請求」と朱書きして、問い
合わせ先まで送付してください
い。

鹿児島空港国際定期路線 利用促進モデル助成事業

鹿児島空港の国際定期路線の
利用促進と国際交流団体の育成
を図るため、渡航先での交通事
業費の経費を助成します。

○受付期間

平成8年4月1日
平成9年3月31日

○助成金額

一団体当たりの限度額
往復10万円(片道5万円)

○助成要件

- ①鹿児島空港発の国際定期路線
(香港、ソウル、台湾)の利用
(上記経路を含む)
- ②県内在住の10人以上の団体の
渡航
- ③渡航先での現地の団体との交
流事業の実施

▽問い合わせ先

鹿児島空港国際定期路線利用
促進協議会事務局

(県庁交通安全政策課内)

☎099・223・9554

合併処理浄化槽設置補助金 申請受け付け中

市では平成8年度も「環境に
やさしい」小型合併処理浄化槽
の受け付けをしています。住宅
の新築・改築の場合はぜひ設置
をお願いします。

○補助金額

5人槽……409,000円
6～7人槽……563,000円
8～10人槽……924,000円

○お問い合わせ先

環境保健課 ☎73-1211(内線1433)

篤志寄付

広報送付お礼として次の方
ら寄付をいただきました。
ありがとうございました。
鳥飼昭徳様(東京都江戸川区)
猿楽綾子様(大阪府堺市)

訂正とお詫び

先月号の死亡者の欄で若松千
十江様の氏名が間違っておりま
した。訂正してお詫びいたしま
す。

相談

▽税金(商工会議所)

6月20日(木)10時～15時

▽交通事故(市役所)

7月11日(木)

9時30分～15時30分

催し物

市内海水浴場 海開き

▼7月7日(日)

市内三海水浴場

編集後記

うっとおしい時期がやってき
ました。うっとおしいとともに
昨年の豪雨被害を考えると、怖
いという時期かもしれません。
災害には充分な注意を。▽雨と
いうと農家では田植えのシーズ
ン到来。一家総動員で植えられ
ていたのも、最近では機械が主流。
あつという間に植えられて、タ
バコアガイでの笑い声も聞こえ
なくなり、省力化の中に何か寂
さが残る気がします。(昇)